

結城市学校適正配置等に関する中間報告書

結城市学校適正配置等検討委員会
令和3年9月

1 学校適正配置等の具体的検討対象

各小中学校の学校規模等の現状や課題等を踏まえ、学校適正配置等の具体的な検討対象を整理したものは、以下のとおりです。

●学校適正配置等の具体的な検討対象表

	対 象	関 連 校	頁
①	結城南中学校区の適正規模化	絹川小、江川北小、江川南小、山川小、上山川小、結城南中	2
②	結城中学校区・結城東中学校区の学区再編	結城小、結城西小、結城中、結城東中	5
③	結城南中学校区・結城東中学校区の学区再編	絹川小、結城南中、結城東中	8
④	結城中中学校区の適正規模化	城南小、城西小、結城中	10

●市内小中学校配置図

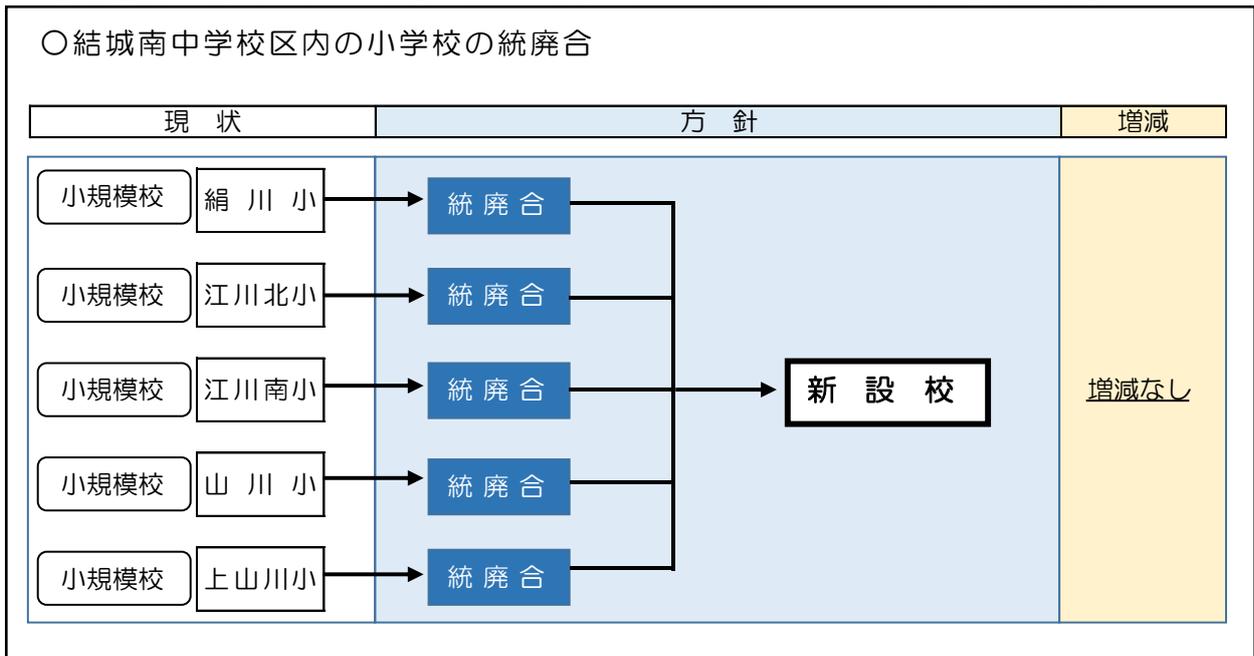


2 検討対象ごとの具体的な方策案

学校適正配置等における対策が必要な関連校ごとの具体的な方策案は、以下のとおりです。

1 結城南中学校区の適正規模化

【関連校：絹川小、江川北小、江川南小、山川小、上山川小、結城南中】



【案】 結城南中学校との小中一貫教育に適した位置に新設校を設置

- 絹川小学校、江川北小学校、江川南小学校、山川小学校及び上山川小学校は、いずれも1学年単学級の小規模校となっており、国や県が示すクラス替えの可能な学級数を満たしていないことから、統廃合をすることが望ましい。
- 各小学校は、老朽化が進んでおり、建替えや大規模改修の必要性が検討されている。結城南中学校との小中一貫教育に適した位置に統合校を新設し、小中一貫教育を推進することが望ましい。
- 結城南中学校付近に新設校を設置した場合、通学距離は概ね適正距離の4km圏内となるが、一部適正距離を超える地域もあるため、スクールバスの導入は必須になる。なお、スクールバスの導入に当たっては、停留場の位置や箇所数等について公共交通整備担当と連携し、検討する必要がある。
- 令和7年度頃には、小規模校において2つ以上の学年で構成される複式学級になる可能性があることから、新設校の設置に当たっては、令和6年度から7年度で整備し、令和8年度に開校できることが望ましい。

新入学予定者数の推計

(令和3年6月1日現在)

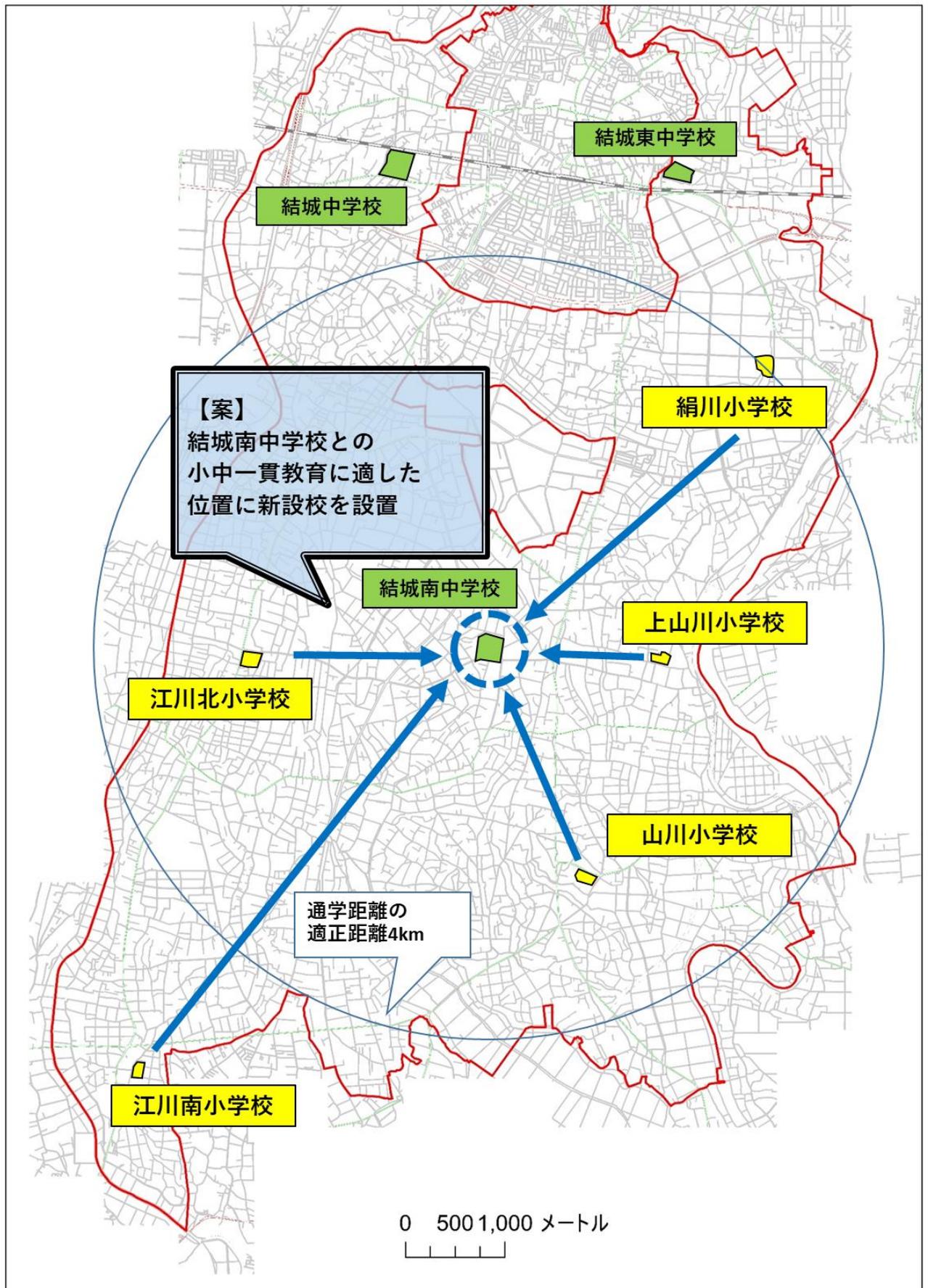
対策前		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H27.4.2~H28.4.1	H28.4.2~H29.4.1	H29.4.2~H30.4.1	H30.4.2~H31.4.1	H31.4.2~R2.4.1	R2.4.2~R3.4.1
絹川小学校	児童数	19	19	23	17	11	11
	学級数	1	1	1	1	1	1
江川北小学校	児童数	26	27	13	16	14	10
	学級数	1	1	1	1	1	1
江川南小学校	児童数	8	9	7	9	4	6
	学級数	1	1	1	1	1	1
山川小学校	児童数	22	25	24	14	19	13
	学級数	1	1	1	1	1	1
上山川小学校	児童数	32	14	20	10	15	7
	学級数	1	1	1	1	1	1
対策後 (新設校)	児童数	107	94	87	66	63	47
	学級数	4	3	3	2	2	2
	学級当たり	27	31	29	33	32	24

新設校の全児童数の推計

(令和3年6月1日現在)

対策前		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
絹川小学校	全児童数	149	147	145	133	109	100
	全学級数	6	6	6	6	6	6
江川北小学校	全児童数	151	155	142	126	118	106
	全学級数	6	6	6	6	6	6
江川南小学校	全児童数	69	60	56	53	47	43
	全学級数	6	6	6	6	6	6
山川小学校	全児童数	152	146	150	136	128	117
	全学級数	6	6	6	6	6	6
上山川小学校	全児童数	129	121	121	112	109	98
	全学級数	6	6	6	6	6	6
対策後 (新設校)	全児童数	650	629	614	560	511	464
	全学級数	22	21	21	19	17	16
	学級当たり	30	30	29	29	30	29

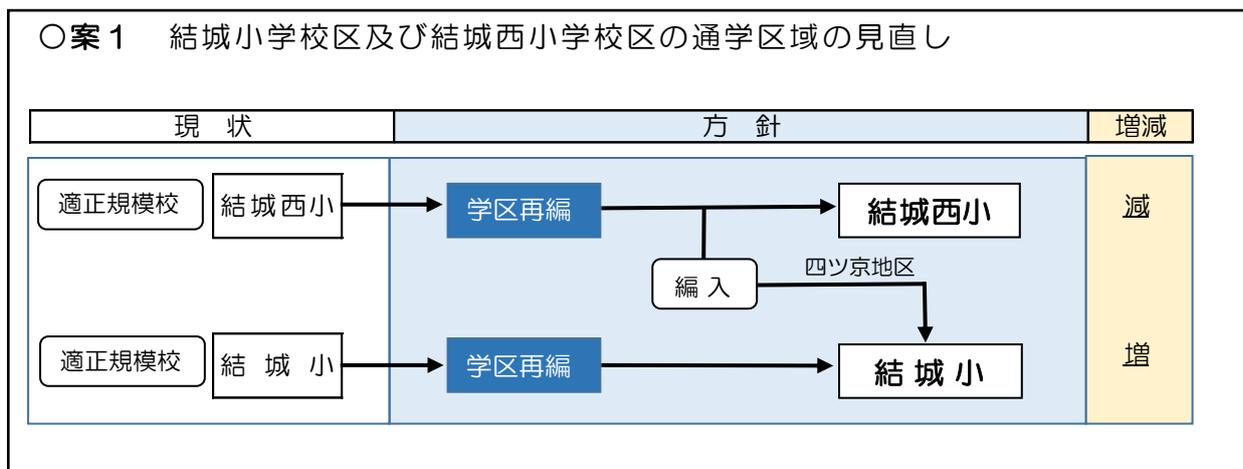
● 結城南中学校区の適正規模化の検討図



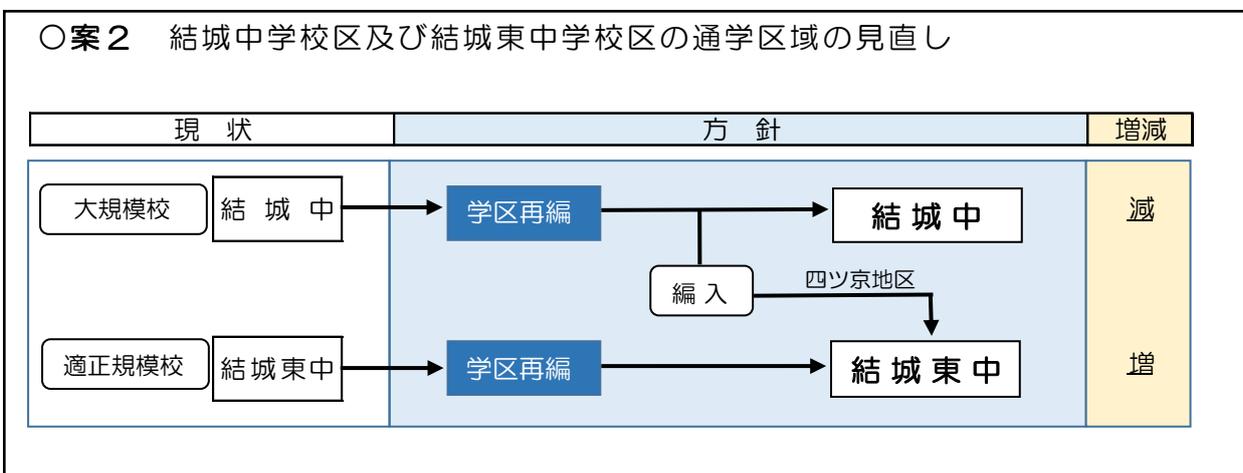
2 結城中学校区・結城東中学校区の学区再編

【関連校：結城小、結城西小、結城中、結城東中】

○案1 結城小学校区及び結城西小学校区の通学区域の見直し



○案2 結城中学校区及び結城東中学校区の通学区域の見直し



【案1】 「四ツ京」地区を結城小学校区に編入

- 結城小学校の児童数が、30人前後増えるため、結城小学校の学級数が当分の間、3学級を維持することができる。
- 四ツ京地区は以前、結城小学校区であった経緯がある。また、変更後の通学距離は、変更前と大きく変わらず、約1.5kmの範囲になる。
- 当該学区を見直す場合、結城西小学校の児童数が減少するため、自治会、子ども会等と協議が必要である。

【案2】 「四ツ京」地区を結城東中学校区に編入

- 結城東中学校の生徒数及び学級数が維持されることにより、市内3中学校の生徒数及び学級数の平準化が図られる。
- 変更後の通学距離は、変更前と大きく変わらず、約2.5kmの範囲になる。

【案1】

新入学予定者数の推移

(令和3年6月1日現在)

対策前		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H27.4.2~H28.4.1	H28.4.2~H29.4.1	H29.4.2~H30.4.1	H30.4.2~H31.4.1	H31.4.2~R2.4.1	R2.4.2~R3.4.1
結城小	児童数	69	76	84	66	63	67
	学級数	2	3	3	2	2	2
	学級当たり	35	25	28	33	32	34
結城西小 ※を含む	児童数	92	105	83	91	70	77
	学級数	3	3	3	3	2	3
	学級当たり	31	35	28	30	35	26
※四ツ京地区		31	37	33	35	29	37

対策後		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H27.4.2~H28.4.1	H28.4.2~H29.4.1	H29.4.2~H30.4.1	H30.4.2~H31.4.1	H31.4.2~R2.4.1	R2.4.2~R3.4.1
結城小 ※を含む	児童数	100	113	117	101	92	104
	学級数	3	4	4	3	3	3
	学級当たり	33	28	29	34	31	35
結城西小	児童数	61	68	50	56	41	40
	学級数	2	2	2	2	2	2
	学級当たり	31	34	25	28	21	20

※対策前と比較して増となる場合は「赤字」、減となる場合は「青字」、変わらない場合は「黒字」となっています。

【案2】

新入学予定者数の推移

(令和3年6月1日現在)

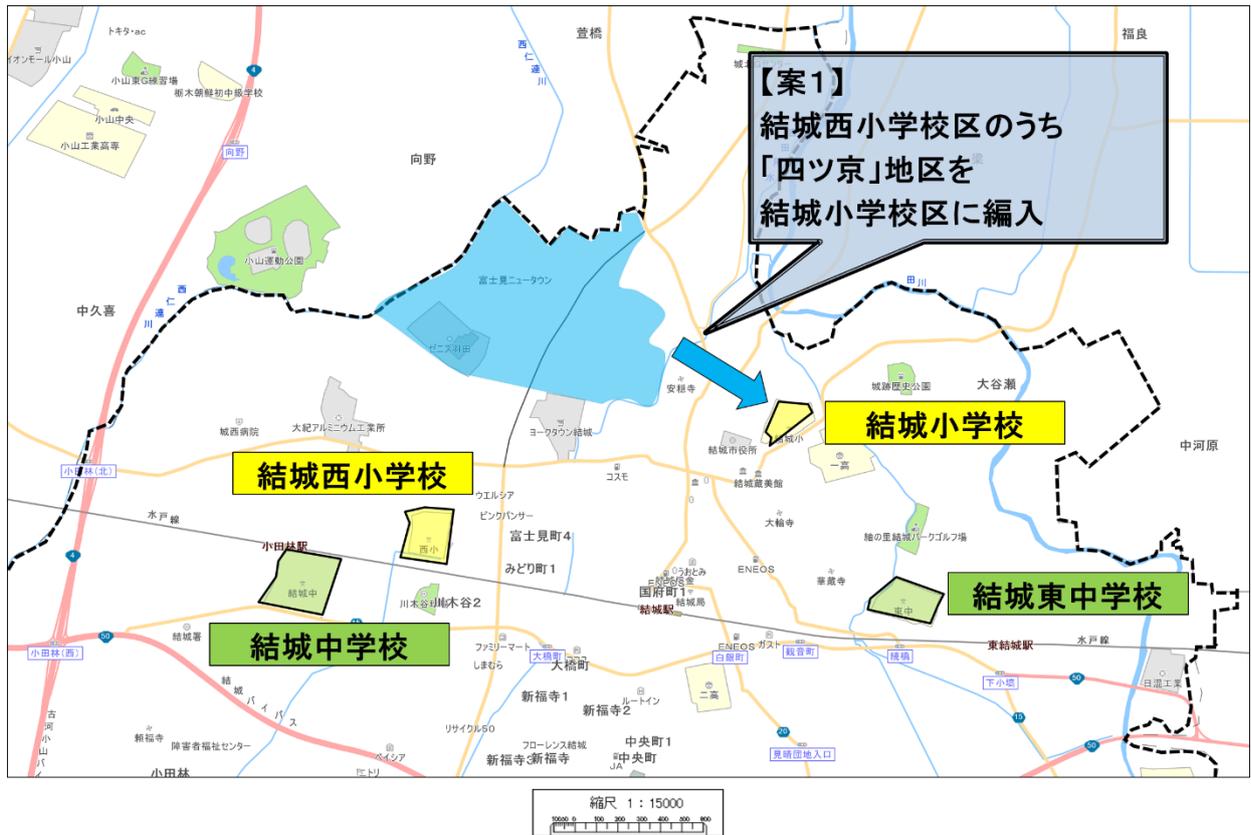
対策前		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H21.4.2~H22.4.1	H22.4.2~H23.4.1	H23.4.2~H24.4.1	H24.4.2~H25.4.1	H25.4.2~H26.4.1	H26.4.2~H27.4.1
結城中 ※を含む	生徒数	221	220	214	229	206	248
	学級数	7	7	7	7	6	8
	学級当たり	32	31	31	33	34	31
結城東中	生徒数	109	116	106	100	82	92
	学級数	4	4	3	3	3	3
	学級当たり	27	29	35	33	27	31
※四ツ京地区		36	31	33	36	40	36

対策後		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H21.4.2~H22.4.1	H22.4.2~H23.4.1	H23.4.2~H24.4.1	H24.4.2~H25.4.1	H25.4.2~H26.4.1	H26.4.2~H27.4.1
結城中	生徒数	185	189	181	193	166	212
	学級数	6	6	6	6	5	6
	学級当たり	31	32	30	32	33	35
結城東中 ※を含む	生徒数	145	147	139	136	122	128
	学級数	5	5	4	4	4	4
	学級当たり	29	29	35	34	31	32

※対策前と比較して増となる場合は「赤字」、減となる場合は「青字」、変わらない場合は「黒字」となっています。

● 結城中学校区・結城東中学校区の学区再編の検討図

【案1】 「四ツ京」地区を結城小学校区に編入



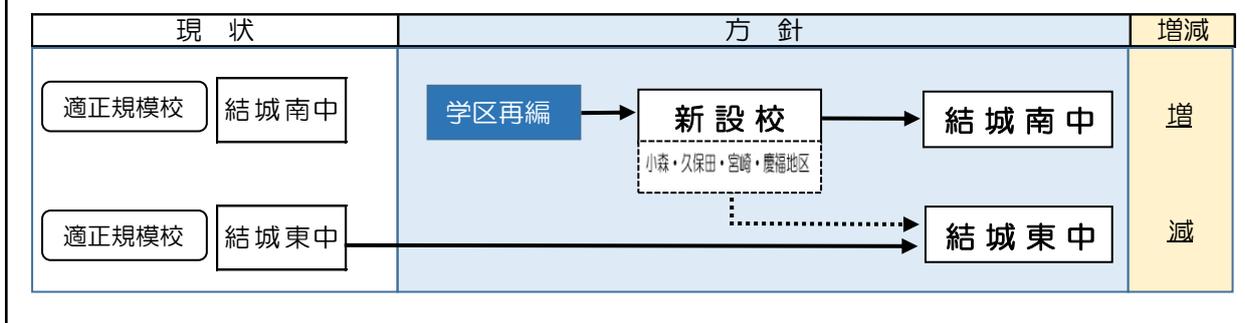
【案2】 「四ツ京」地区を結城東中学校区に編入



③ 結城南中学校区・結城東中学校区の学区再編

【関連校：絹川小、結城南中、結城東中】

○結城南中学校区及び結城東中学校区の通学区域の見直し



【案】 「小森・久保田・宮崎・慶福」地区を結城南中学校区に変更

○現在、「小森・久保田・宮崎・慶福」地区は、絹川小・結城東中学校の通学区域となっているが、結城南中学校区内の小学校を統廃合した場合、小中一貫教育の推進の観点から当該地区の通学区域は新設校・結城南中学校に変更する。

○当該地区の児童が、結城東中学校への進学を希望する場合の対応など、児童・保護者の意思に配慮する必要がある。

新入学予定者数の推計

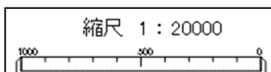
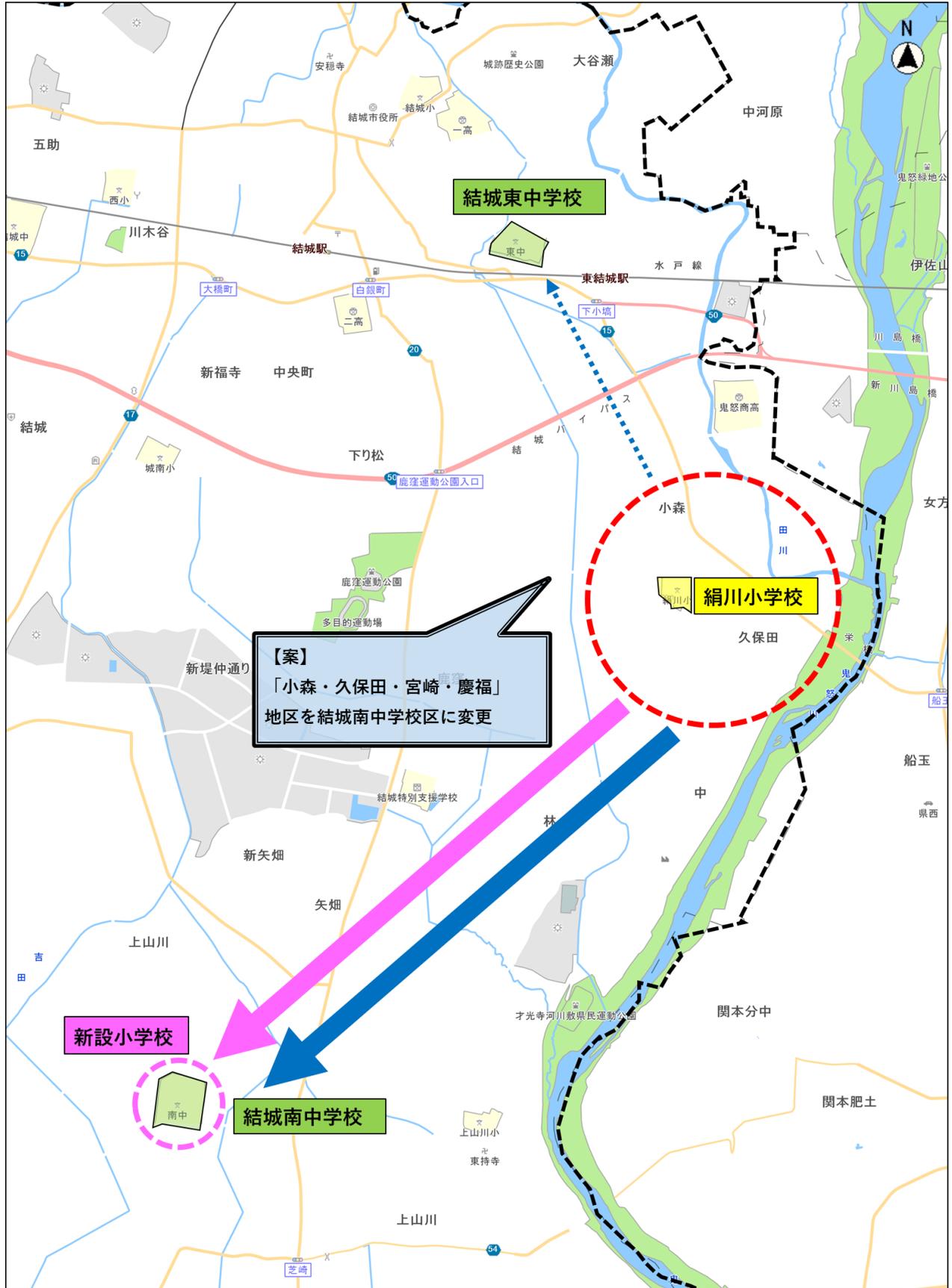
(令和3年6月1日現在)

対策前		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H21.4.2~H22.4.1	H22.4.2~H23.4.1	H23.4.2~H24.4.1	H24.4.2~H25.4.1	H25.4.2~H26.4.1	H26.4.2~H27.4.1
結城東中 ※を含む	生徒数	109	116	106	100	82	92
	学級数	4	4	3	3	3	3
	学級当たり	27	29	35	33	27	31
結城南中	生徒数	98	109	88	110	105	85
	学級数	3	4	3	4	3	3
	学級当たり	33	27	29	28	35	28
※小森・久保田・宮崎・慶福		7	9	11	10	10	7

対策後		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H21.4.2~H22.4.1	H22.4.2~H23.4.1	H23.4.2~H24.4.1	H24.4.2~H25.4.1	H25.4.2~H26.4.1	H26.4.2~H27.4.1
結城東中	生徒数	102	107	95	90	72	85
	学級数	3	3	3	3	2	3
	学級当たり	34	36	32	30	36	28
結城南中 ※を含む	生徒数	105	118	99	120	115	92
	学級数	3	4	3	4	4	3
	学級当たり	35	30	33	30	29	31

※対策前と比較して増となる場合は「赤字」、減となる場合は「青字」、変わらない場合は「黒字」となっています。

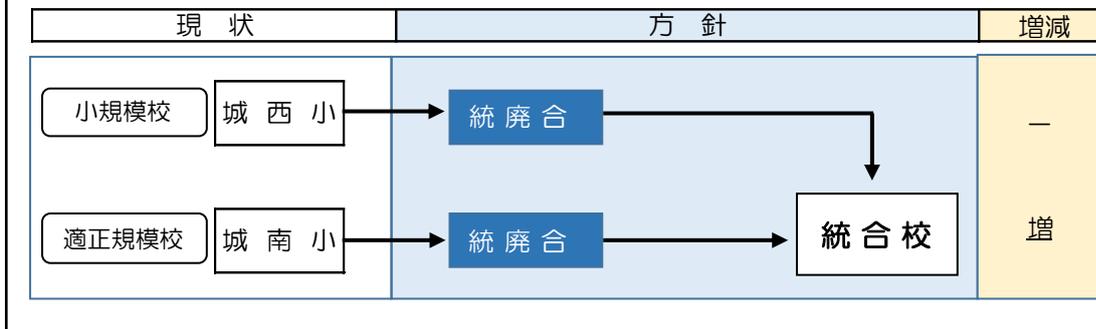
● 結城南中学校区・結城東中学校区の学区再編の検討図



4 結城中学校区の適正規模化

【関連校：城南小、城西小、結城中】

○城南小学校と城西小学校の統廃合



【案】 城南小学校、城西小学校を、校地を城南小学校として統合

○城西小学校は現在、全学年単学級の小規模校で、今後も児童数の増加は望めないことから、近隣の城南小学校を校地として統廃合することが望ましい。

○城南小学校は現在、全学年3学級の適正規模校であるが、徐々に児童数が減っていくため、統廃合する時期を見極める必要がある。

○旧城西小学校区からの通学時間に配慮し、スクールバスの導入を検討すること。

新入学予定者数の推計

(令和3年6月1日現在)

対策前		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H27.4.2~H28.4.1	H28.4.2~H29.4.1	H29.4.2~H30.4.1	H30.4.2~H31.4.1	H31.4.2~R2.4.1	R2.4.2~R3.4.1
城南小	児童数	100	91	92	78	77	73
	学級数	3	3	3	3	3	3
	学級当たり	33	30	31	26	26	24
城西小	児童数	28	21	25	19	19	18
	学級数	1	1	1	1	1	1
	学級当たり	28	21	25	19	19	18

対策後		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		H27.4.2~H28.4.1	H28.4.2~H29.4.1	H29.4.2~H30.4.1	H30.4.2~H31.4.1	H31.4.2~R2.4.1	R2.4.2~R3.4.1
統合校	児童数	128	112	117	97	96	91
	学級数	4	4	4	3	3	3
	学級当たり	32	28	29	32	32	30

※対策前の城南小と比較して増となる場合は「赤字」、減となる場合は「青字」、変わらない場合は「黒字」となっています。

統合校の全児童数の推計

対策後		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		全児童数	757	737	731	704	689
統合校	全学級数	24	24	24	23	22	21
	学級当たり	32	31	30	31	31	31

※対策前の城南小と比較して増となる場合は「赤字」、減となる場合は「青字」、変わらない場合は「黒字」となっています。

● 結城中学校区の適正規模化の検討図

